

資料 2

地域自治区振興事業のこれまでの検討結果について

第 1 期検討分 第 2 期へ引き継ぎ分

事業名	概要	取扱い経過
(仮)自治会支援制度モデルづくり事業	自治会内に支援体制を整備し、高齢者や障がい者を対象に低額有償支援する制度(助け合い制度=ライフサポート制度)を構築する。 <雪投げ・草刈り・買物代行・家事など幅広く>	社会福祉協議会での事業との調整(重複部分)が必要であるため、今後の課題とする。
(仮)浜益区特産づくり奨励事業	農協、漁協、商工会青年婦人部などが新たな特産品(地元の素材を活用)を考案し、ふるさと祭りで発表(めだまイベント)。好評なものは地元飲食店等でメニュー化をめざす。	詳細の検討に至らず
(仮)浜益産おいしいお米キャンペーン事業	浜益区の全飲食店等で浜益産米のみを使用し、そのイメージを植え付ける。全飲食店等に参加を呼びかけポスター、チラシづくり。いずれは農家と契約し、自然乾燥米導入をめざす。	詳細の検討に至らず
(仮)浜益区グリーンツーリズム推進事業	浜益産米を活用した「どぶろく」づくりによる新たな特産品開発をめざす。 (どぶろく特区の申請など)	その他、地酒欄参照

その他、新たな事業提案～平成20年度第4回地域協議会以降

項目	取扱い経過
地酒	浜益酒造部会で作付けの酒造好適米(吟風)を田中酒造(小樽市)が買い上げ、浜益産地酒どぶろく「石狩に浜っちゃん益」を製造販売する。(酒造メーカーが直接販売) 7月31日市役所でお披露目会
温泉での直売施設(売店)	21年4月より指定管理者が変更となったため、今後協議検討が必要。
浜益米の販売	米のルートは、生産者 JA ホクレン。小売店が新たに米を売る場合は審査があり保証人、保証金が必要。現システムではどうしても割高なシステムになってしまうため、価格転嫁してまで取り扱う小売店を確保できるかが課題。